

佐賀市議会議員 自由民主党

たか ひろ

# いなば 嵩広

## ごあいさつ

みなさま、こんにちは！朝晩は涼しくなってきました、ようやく秋の訪れを感じることが出来ました。食の秋、読書の秋、スポーツの秋と様々な楽しみが増える季節ですが新型コロナウイルスの感染状況の影響で多くのイベントや行事が中止になり、地域住民の皆様におかれましては寂しい思いをしている方も多いことかと思えます。地域の方々のふれあいがなければ地域に活力は生まれません。私も微力ではありますが、地域に活力を、日新をもっと元気に出来るよう取り組んでまいります。あいまかわらず前後にチャイルドシートを装着したママチャリで移動しておりますので、お見かけ頂いた際はお気軽にお声がけくださいね！



## 佐賀市9月定例会のご報告

9月2日に開会しました定例会は令和3年度の決算を審議する大事な定例会です。私の所属する経済産業委員会では佐賀市観光協会に委託していたインターネットショッピングサイト運営の事業が2年間で約2,800万円の事業費を投じながらも販売額が約200万円(776点)であった事を問題視しました。事業は令和3年度で終了しておりますが、効果的で正しいお金の使い方(ワイズスペンディング)を果たすよう、今後は議案の段階から丁寧に審査をする必要があります。

### 令和4年度9月定例会補正予算 主な事業

#### 佐賀市総合ポータルアプリ構築事業(企画調整部) 7,183万円

市民がスマートフォンを活用し、様々な分野の申請や手続きをどこでも簡単に出来る「市役所スーパーアプリ」の構築を行う経費 (事業費全額国庫支出金にて充当)

#### 中小企業者等燃油・原材料高騰対策事業(経済部) 36,045万円

燃油・原材料の価格高騰により収益が悪化している中小企業者に対し、支援金を交付することにより、経営の負担を軽減し事業の継続を支援する経費 (事業費全額国庫支出金にて充当)

#### 高齢者・障がい者支援クーポン券支給事業(保健福祉部) 46,398万円

物価高騰の影響が大きい高齢者及び障がい者に対して、市内の店舗で利用できるクーポン券を支給し家計の支援の一助とする事業 (事業費全額国庫支出金にて充当)

※議会での審議の結果、現金での支給に修正をされました。

## 一般質問

### 「全国平均以下の学力水準の改善を！」

佐賀市は佐賀県学習状況調査という県独自の調査を指標に学力の動向を掴み、目標設定をしています。しかし、全国の自治体では全国学力学習状況調査という国が実施している調査を指標に学力の向上を図っています。本市は全国と比較して学力水準が低い場合、本市も全国学力学習状況調査の結果を指標に学力水準の改善を行うべきではないでしょうか。

**1 問** 県の調査を指標にしている理由は？  
**答** 国の調査に比べ試験科目が多いため。加えて、国の調査は小6と中3が対象であるのに対し、県の調査は小4、小5、中1、中2と対象学年が広く、生徒の実態を掴みやすいため。

**2 問** 県独自の調査の方が実態を掴みやすいとのことだが、結果が伴っていない。国の調査指標への変更を検討しないのか？  
**答** 引き続き県の調査を指標にしながら、国の調査も有効に活用していく。より良い成果指標になるよう検討は行っていく。

**3 問** これからの社会で活躍する力をつける教育が必要。そのために主体的な学びが有効だが市の取り組みは？

**答** 取り組みを始めており、良い成果も出てきているが、多忙な教育現場や人材不足により、広く周知を図るのに苦慮している。

**4 問** 【市長に問う】これからの佐賀を担う子どもたちの将来のために教育改革に取り組む必要があると思うがどうか？

**答** 佐賀市の子どもたちの将来、そして課題解決のためにデジタル化や効率化を図り取り組んでいく。

## 経済産業委員会視察のご報告 茨城県境町

私が所属をしている経済産業委員会にて茨城県境町と栃木県日光市へ視察に行きまして。境町は人口約2.4万人の佐賀市に比べると小さい町ですが、その規模を活かし、スピード感を持って面白い施策に取り組んでいました。その中でも自動運転による町内の循環バスは未来の公共交通のヒントが詰まっております。また、境町戦略委員会という機関を設け、自治体が稼ぐ仕組みを確立しており、佐賀市においても参考にすべき事例でした。歳入減が迫る佐賀市において持つべき視点です。



境町で実際に運行をしている自動運転バス。無人での運行が可能ですが、法律の規制上、オペレーターが1名乗車して運行を行っています。



境町には公設民営の施設が多く、どの施設も黒字経営をし、行政には安定的に家賃収入が入ってきています。町内経済が下向いた際の財源問題が課題でもあると思います。

## 経済産業委員会視察のご報告 栃木県日光市

視察2箇所目の栃木県日光市では観光地をゆっくり走る注目の交通機関である「グリーンスモールモビリティ」と日光市が取り組む観光戦略の視察を行いました。グリーンスモールモビリティは観光地をゆっくり進むことで今まで目立たなかった隠れた観光名所の掘り起こしをし、観光客の消費額を高める効果があると期待をされています。しかしながら、コロナ禍ということもあり、予想された効果が得られていないようで、観光戦略の難しさを実感しました。観光は市外からお金を稼ぐ重要な産業です。佐賀市では何ができるのか、引き続き勉強をしてみたいです。



日光市のグリーンスローモビリティ。ゆっくりとしたスピードで情緒ある街並みを楽しみながら移動することが出来ます。

## いなば嵩広の佐賀市探訪

今回の佐賀市探訪は市内のセブンイレブンに設置されたペットボトル回収機をご紹介します！お店の前にある回収機にラベルとキャップを外したペットボトルを入れることでリサイクルされ、再びペットボトルとして利用されるというものです。また、佐賀市の清掃工場では作業員の方の手作業によりゴミの分別が行われています。ラベルとキャップも人の手で外していますので、私たちがゴミを出す際に外しておくだけで作業員の方の負担を減らすことができますよ！



市内のセブンイレブンに設置されたペットボトル回収機。

佐賀市議会議員

いなば 嵩広

〒840-0045 佐賀市西田代 2-1-9

TEL 0952-77-0836

WEB サイト



LINE



### プロフィール

- ・1985年10月31日生まれ 東京都出身 成蹊大学法学部法律学科卒業。大学卒業後、リグナ株式会社というネット通販会社で経験を積む。
- ・その後、インテリア関係の商社、株式会社ジェイ・シータウン(主な取引先：株式会社飯田産業、防衛省ほか)にて多くの業務に取り組む。
- ・佐賀市西田代出身の妻と結婚した事で、佐賀にご縁を頂き、佐賀で子育てをしたいと妻に相談をし、5年前に移住。10歳の長女と6歳の次女、4歳の長男の子育て真最中!
- ・掃除や洗濯、お風呂洗いなどの家事が日課で、休日は料理を担当することも。得意料理はパスタ全般。趣味は読書、料理、キャンプ、ランニング(桜マラソン2度の参加&完走!)
- ・経済産業委員会、水害対策調査特別委員会、都市計画審議会所属

